



Fashion Channel News

- June, 2017 -

- #1450 2017 Spring/Summer Tokyo Collection Report4
[収録ブランド] ジュンハシモト / ケイイチロウセンス / ケイスケヨシダ / キディル / コーシェ・バイ・エイチ・ビューティ&ユース
- #1451 2017 Spring/Summer Tokyo Collection Report5
[収録ブランド] ラマルク / レナルメルスキー / レオナード・ウォン / マトフ / ミキオ・サカ
- #1452 2017 Spring/Summer Tokyo Collection Report6
[収録ブランド] ミントデザインズ / ミューラル / ネーム / ネハン・ミハラ・ヤスヒロ / プラスチックトーキョー
- #1453 2017 Spring/Summer Tokyo Collection Report7
[収録ブランド] シナ・スイエン / サルバム / シアタープロダクツ / トクコ・ブルミエヴォール / ウジヨー



7-17-14 Roppongi Minato-ku Tokyo 106-0032
TEL. 03-3746-3323 FAX. 03-3408-5549
URL. <http://fashionnews.co.jp> E-MAIL. info@fashionnews.co.jp

Collection

#1450-#1453

ノージェンダーxストリート。独自色を強めた東京トレンドとは？

2017 春夏 東京コレクション (40ブランド)



東京発のファッショントレンドを世界に向けて発信する「Amazon Fashion Week Tokyo」が2016年10月17日～23日、東京・渋谷ヒカリエをメイン会場に開催された。2017春夏シーズンはメルセデスベンツからアマゾンジャパンに冠スポンサーが変わり、装い新たに開催された。参加ブランドは約50。そのうち、初参加は「KOCHE(コーシェ)」「Umit Benan(ウミット・ベナン)」ら海外ブランドや、谷田浩と西本絵美が手掛ける「bedsidedrama(ベッドサイドドラマ)」、村松祐輔と関口愛弓による「MURRAL(ミューラル)」といった日本勢を含む10ブランド。また、ミュージシャンのYOSHIKIが2回目のコレクションを披露したほか、渋谷のファッションビルが一体となって開催するSHIBUYA FASHION WEEKで路上ファッションショーを披露するなど、見所満載のイベントとなった。



トレンドは東京ブランドが得意とするストリートスタイルを意識しつつ、日本の伝統文化を織り交ぜたり、性差の垣根を取り払ったジェンダーレスなアイテムが登場。全体的にリラックス感漂うゆったりシルエットで、スカートはボリューム感のあるマキシ丈、パンツはフルレングスのワイド。欧州コレクションに追随するかのようになり、メンズとウィメンズのモデルが入り混じってランウェイを歩く形式が増えているのも特徴だ。



注目ブランドは来期からパリコレ進出を発表した「beautiful people(ビューティフル・ピープル)」。東コレ最後のショーとなった今シーズンは、デザイナーの熊切秀典の名前にちなみ、テディーベア(熊)をシグニチャーアイテムに掲げた。コレクションテーマは“Do it Ourselves

(自分たちでやってみよう)”。トレンチコートをスリーブレスにしたリ、ボリューム感のあるフレアスカートを前後の長さを変えてアシンメトリーにデザインするなど、ベーシックアイテムに動きをつけたアイデアで勝負している。起毛素材で仕立てられたセットアップパンツやボアサンダルなど、テディーベアのアイデアはアクセサリーにとどまらず、スタイル全体に生かされている。



勝井北斗と八木奈央がデザインする「mintdesigns(ミントデザインズ)」は“SUBWAY”をテーマに、都会的なイメージを漂わせるストリー

トウェアを発表した。ニューヨークの地下鉄で見られるグラフィティ風プリントをあしらったワンピースや、布を編みこんでひも状にし、ウエストをたぐり寄せたチュニックとワイドパンツの組み合わせ、ギャザースカートとワイドパンツの重ね着など、どのスタイルもどこかジェンダーレスな雰囲気が漂う。アクセントとして用いられているひもの結び目や垂れ下がったデザインも要チェック。